

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第4学年

音楽科

題材名 いろいろな音のひびきを感じ取ろう

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

思いや意図をもって演奏するとはどういうことだろう。

② 題材を貫く問い（題材を通して考え深めていく「問い」）

この曲（茶色の小びん）にふさわしい表現とはどのようなものだろう。

③ 個別の問い（題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・（演奏してみて）この旋律はどんな感じがしましたか。また、そう感じたのはなぜでしょうか。
- ・このパートの音の動きやリズムにはどんな特徴があるでしょうか。また、パートの役割を生かした演奏をするには、どのように演奏したらよいでしょうか。
- ・（練習過程で自分たちの演奏を記録して聴いて）よりよい演奏にしていくには、さらに、どのようなことを工夫したらよいでしょうか。

題材計画の
構想を立て
る

- 1 全員で主旋律を演奏し、曲想を感じ取る。
- 2 パートの役割や旋律の特徴を捉える。
- 3 「旋律」「音の重なり」をよりどころにして表現を工夫し、試行錯誤しながら思いや意図をもつ。（音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを適切に位置付ける。）
- 4 学習したことを生かし、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けて演奏する。
- 5 表現を工夫した演奏を発表し、振り返る。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第6学年

音楽科

題材名「曲想の変化を感じ取ろう」

教材名「思い出のメロディー」「ハンガリー舞曲第5番」「風を切って」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

音や音楽によって心が動くのはなぜだろう。

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

旋律に着目するおもしろさって何だろう。

※本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を「旋律」に設定した場合

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

【歌唱】 旋律を味わいながら歌うと、あなたはどんな気持ちになりましたか。それはなぜでしょう。

【器楽】 この曲を指揮してみて、あなたは旋律にどんな発見をしましたか。

【鑑賞】 この旋律のよさを表すために、あなたならどのように演奏しますか。

題材計画の
構想を立てる

- 1 「思い出のメロディー」を歌って、旋律が生み出す曲想の変化に関心をもつ。
- 2 旋律の特徴を生かして、「思い出のメロディー」の歌唱表現を創意工夫する。
- 3 「ハンガリー舞曲第5番」を指揮して、旋律が生み出す曲想の変化に関心をもつ。
- 4 旋律の特徴を手がかりに、「ハンガリー舞曲第5番」を味わって聴く。
- 5 「風を切って」を演奏し、旋律が生み出す曲想の変化に関心をもつ。
- 6 旋律の特徴を手がかりに、「風を切って」の表現を創意工夫して演奏する。
- 7 旋律に着目して表現したり聴いたりすることのよさを交流する。
- 8 3曲の中からお気に入りの1曲を選択し、表現や鑑賞を楽しむ。